

令和5年度第1回遠野市総合計画審議会 会議録

会議日時：	令和5年5月23日（火） 13:30～15:35
場 所：	遠野市役所本庁舎 多目的大会議室
出席委員：	遠野ひまわり基金法律事務所 相高宏太 委員 遠野市郷土芸能協議会 赤坂康紀 委員 遠野市消防団 阿部和美 委員 遠野市婦人団体協議会 海老糸子 委員 社会福祉法人遠野市社会福祉協議会 及川増徳 委員 遠野地方森林組合 菊池修市 委員 遠野市食生活改善推進員団体連絡協議会 菊地セツ子 委員 一般社団法人遠野市医師会 菊池俊彦 委員 遠野市体育協会 熊谷義弘 委員 一般社団法人遠野市青年会議所 河野堅太 委員 花巻農業協同組合 小松大成 委員 一般社団法人遠野市教育文化振興財団 小向孝子 委員 遠野市民生児童委員協議会 佐藤正市 委員 NPO 法人遠野エコネット 千葉 和 委員 遠野市わらすっこ支援委員会 松田希実 委員 一般社団法人遠野市観光協会 三浦芳昌 委員 岩手県南広域振興局 山本卓美 委員
代理出席：	遠野市ふるさとづくり市民会議 八重樫正昇 氏 株式会社遠野テレビ 佐々木 啓 氏 遠野商工会 高橋 厚 氏
欠席委員：	遠野市金融団 菊田修一 委員 遠野市校長会 佐々木美紀 委員 遠野市 PTA 連合会 多田宜史 委員 TKプロジェクト実行委員会 新里佳子 委員 岩手県行政書士会遠野支部 山口美恵 委員
市 役 所：	遠野市長 多田一彦 副市長 鈴木惣喜 教育長 佐々木一人 総務企画部長 鈴木英呂 健康福祉部長 菊池 寿 産業部長 阿部順郎 環境整備部長 村上明洋

	<p>市民センター所長 海老寿子 教育部長 伊藤貴行 消防長 千田一志 会計管理者 新田順子 総務課長 佐々木伸二 経営企画課長 新田正宏 財政課長 白岩克己</p>
<p>1 開会 (13:30～)</p>	<p>【進行：鈴木総務企画部長】</p>
<p>2 辞令交付 (13:30～)</p>	<p>※各出席委員に、市長より辞令を交付（市長が委員席を回って手交）</p>
<p>3 市長あいさつ (13:37～)</p>	<p>皆さんこんにちは。本日はお忙しい中、総合計画審議会に御出席賜り、心から感謝申し上げます。</p> <p>日頃、各委員の皆様におかれましては、それぞれの立場から、市政発展に御尽力と御協力を賜っていることに、重ねて感謝申し上げます。</p> <p>先ほどは、各委員の皆様にも、3年間の任期とする辞令書を交付させていただきました。</p> <p>任期中には2026年度（令和8年度）を初年度とする、第3次遠野市総合計画の策定を迎えます。将来を見据えた総合的、かつ計画的な行政運営を図るための10年間の計画策定となります。</p> <p>御負担をおかけすることとなりますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>さて、新型コロナウイルス感染症については、今月8日以降からは、5類感染症に位置付けられて、市民生活もコロナ前の状態に近づいているように感じられます。</p> <p>しかしながら、ロシア、ウクライナの問題に伴う世界経済への影響は長期化の一途をたどっています。新型コロナウイルスによる景気の低迷と相まって、市民生活は厳しさを増している状況にあります。今後も、様々な支援策を講じていかなければなりません。</p> <p>本日は、協議案件はございませんが、報告案件として、令和5年度遠野市一般会計予算の概要をはじめとする主要事業等を報告させていただきます。</p> <p>遠野未来投資予算と銘打ち、遠野の明るい未来実現に向けた新しい取</p>

	<p>組に、積極的にチャレンジをしていく投資型予算として、総額189億5千万円で編成させていただいております。</p> <p>予算編成にあたりましては、昨年7月から9月にテーマ別井戸端会議として、地域産業の起業、観光を活用した郷土芸能の保存と活動、ごみの減量に向けた取組、地域の介護サービスの充実策の4つのテーマで懇談会を開催し、多数の前向きな御意見・御提言をいただき、これを施策に反映したものでございます。</p> <p>また、本年3月には、市内全地区で、みんなの井戸端会議を開催し、市民の皆様の御意見を直接伺い、緊急を要するものについては、4月早々でありましたが、補正予算によって必要な措置を講じているところでございます。</p> <p>私の選挙公約である、「市民の命と暮らしを守る」の実現に向けて、市民の暮らし、生業を守っていけるよう、先頭に立って、未来を切り開いてまいる所存であります。</p> <p>委員の皆様には、それぞれの立場から、どのように取組を推進していくのが良いのかなど、事業推進につながる建設的な御意見を賜りたいと存じます。</p> <p>限られた時間の中ではございますが、最後までよろしくお願い申し上げます。</p>
<p>4 委員及び職員紹介 (13:41～)</p>	<p>※委員は、辞令交付の際に紹介していることから省略 ※市長、副市長、教育長については、各委員に紹介 ※3役以外の市職員については、配席図をもって各委員に紹介</p>
<p>5 会長及び副会長の互選 (13:44～)</p>	<p>それでは、次第の5、会長及び副会長の互選に入らせていただきます。審議会条例第4条第1項で、審議会に会長及び副会長各1名を置き、委員の互選により選出すると規定されております。</p> <p>また、第2項で、会長が会議の議長となることと規定されておりますが、会長が選出されるまでの間、事務局において会議を進行させていただきたいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。</p> <p>【異議なしの声あり】</p> <p>異議なしとのことなので、それでは、会長の選出について、委員の皆様のお意見を伺います。</p>
<p>佐藤正市委員</p>	<p>推薦してよろしいでしょうか。会長に、社会福祉協議会の及川増徳会長にお願いしたいと思います。</p>

<p>鈴木経営企画 部長</p>	<p>ただ今、会長を及川増徳委員にお願いしたいとの声がありましたが、いかがでしょうか。</p>
	<p>【異議なしの声あり】</p> <p>異議なしとの声をいただきましたので、会長を及川増徳委員にお願いすることと決定させていただきます。</p> <p>続きまして、副会長の選出に入ります。</p> <p>御意見等をお願いします。</p>
<p>海老糸子委員</p>	<p>女性の立場から、若くはつらつとした新里佳子さんにお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
<p>鈴木経営企画 部長</p>	<p>ただ今、副会長に新里佳子委員にお願いしたいとの声がありました。本日は欠席ということでございますが、いかがでしょうか。</p>
	<p>【異議なしの声あり】</p> <p>異議なしとのことです。副会長に新里佳子委員を選任することと決しました。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、会長が議長になると規定されています。</p> <p>会長に選任されました及川増徳委員には、議長席の方へ御移動いただきまして、御挨拶をお願いします。</p>
<p>6 会長あい さつ (13:47～)</p>	<p>ただ今、会長に互選されました社会福祉協議会の及川増徳でございます。審議会の設置目的を達成するよう、会長職を務めてまいりたいと思っておりますので、委員各位には、特段の御指導・御支援を賜りますよう、よろしくお願います。</p>
<p>鈴木経営企画 部長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、以降の進行は、議長にお願いいたします。</p>
<p>7 報告 (13:48～)</p>	<p>それでは、次第に沿って進行してまいります。</p> <p>次第7の報告でございます。多数報告がございますが、報告案件(1)、(2)と大項目が2つ用意されております。</p> <p>これらについて、順に事務局より説明をお願いします。</p> <p>なお、説明と質疑につきましては、項目が多いので、2回に分けて行いたいと思っておりますが、御異議ございませんでしょうか。</p>

	<p>【異議なしの声あり】</p> <p>異議なしという声がありました。</p> <p>それでは、前段は報告（1）から報告（2）のオまでとし、後段は残りの、カからシまでの分と分けて進めてまいります。</p> <p>それでは、事務局より順に説明をお願いします。</p>
13:49~14:00	<p>○令和5年度遠野市一般会計予算の概要について</p> <p>※報告資料No.1により白岩財政課長が説明</p>
14:00~14:04	<p>○遠野スタイル創造・発展総合戦略の見直しについて</p> <p>※報告資料No.2により新田経営企画課長が説明</p>
14:04~14:07	<p>○遠野市公共施設等総合管理計画個別計画の見直しについて</p> <p>※報告資料No.3により新田経営企画課長が説明</p>
14:07~14:12	<p>○遠野市デジタルトランスフォーメーション（DX）推進基本計画及び実施計画の策定について</p> <p>※報告資料No.4により新田経営企画課長が説明</p>
14:12~14:19	<p>○白岩児童センターの整備計画について</p> <p>※報告資料No.5により菊池健康福祉部長が説明</p>
14:19~14:25	<p>○妊産婦の産前産後サポートの充実について</p> <p>※報告資料No.6により菊池健康福祉部長が説明</p>
及川増徳議長 (14:25~)	<p>以上で、前段の報告が終わりました。</p> <p>これに対するの質問や意見を伺います。</p> <p>千葉和委員。</p>
千葉和委員	<p>確認ですけれども、報告資料No.2の2ページの背景・概要に記載されている、令和4年度に策定された、遠野市デジタルトランスフォーメーション（DX）推進基本計画及び…、その次にも同じことを書いているが記載誤りではないか。</p>
新田経営企画 課長	<p>記載ミスであり、基本計画と実施計画となります。後段の記載が遠野市デジタルトランスフォーメーション（DX）実施計画となります。</p>

<p>及川増徳議長</p>	<p>今の発言は、資料No.2の2ページの背景・概要の文章のところです。 5行目から「遠野市デジタルトランスフォーメーション（DX）推進基本計画」及び「遠野市デジタルトランスフォーメーション（DX）実施計画」と訂正をお願いします。 そのほか質疑ありますか。</p>
<p>八重樫正昇氏</p>	<p>妊産婦の部分で、4ページの資料の中で、医療機関と記載されているが、具体的に、妊産婦が利用できる産婦人科など、そういうものがどこにあるかなどPRされているのでしょうか。 また、各種の制度など、妊産婦に紹介されているのでしょうか。</p>
<p>菊池健康福祉部長</p>	<p>この資料では、県内の医療機関名とかは記載していませんが、各種の制度については、母子手帳を交付する際などに、全ての妊産婦に対して制度の説明や産婦人科医院などの紹介をしております。 市民全体に対しては、機会を捉えて説明してまいりたいと思います。</p>
<p>佐藤正市委員</p>	<p>報告資料No.6で、分娩を取扱わない公設の産婦人科という記述や小児科の無床診療所設置とある。小児科の無床診療所は分かるが、分娩を取扱わない産婦人科というのはどういうことか。 私の記憶では平成14年に遠野病院の産婦人科がなくなって、今まで医師招へい等を試みながら、なかなかできなかったが、5年度で産婦人科の公設での設置は可能なのでしょうか。見通しについて伺いたい。</p>
<p>菊池健康福祉部長</p>	<p>現在の周産期医療については、出産に関しては高度な医療が要求されるため、医師や機器などの医療資源が揃った周産期母子医療センターなどの基幹的な医療機関で取り扱う流れとなっているので、ここでは、お産は扱わない産婦人科医療施設となります。 見通しについてですが、今のところ検討段階というところで、施設建設に係る経費の問題もあり、関係者や専門家などによる検討委員会を設置し、どうあるべきかということを昨年度から検討している段階です。 今年度も継続して検討を重ね、今年度末頃には、施設の設置についての見通しを立てたいと考えています。</p>
<p>及川増徳議長</p>	<p>その他ありませんか。 菊池俊彦委員どうぞ。</p>

<p>菊池俊彦委員</p>	<p>少子化対策のことですが、子育て支援に関しては、妊産婦あんしんサポート事業とかあるが、少子化については、人口が減ってきているのが一番の問題であると思う。</p> <p>人を増やすには、移住者も増やす必要があるし、婚活に対する支援が必要だと思う。</p> <p>移住や結婚に繋げるような施策が金額的に弱いように思うがいかがか。</p>
<p>菊池健康福祉部長</p>	<p>以前は、男女の出会いの場を求めた婚活事業を実施していましたが、なかなか結婚に結び付かないというような状況から、現在は、岩手県のいきいき結婚サポートセンターによるマッチング支援を進めています。</p> <p>出会いを求める方がセンターに登録し、それぞれの登録情報からAIでマッチングさせるといったような内容となっています。</p> <p>市内でも、このセンターを利用する方が数名おり、市としても、こちらに重点を置いているところであります。</p>
<p>菊池俊彦委員</p>	<p>今の説明は分かりましたが、市独自では婚活を含めた男女の出会いの場の創出には、力を入れていないということだと思う。</p> <p>いろんな事業に予算が投入されているが、100万でも200万でも安いものだと思うので、どんどん男女の出会いに対する施策を進めて欲しいと希望します。意見です。</p>
<p>菊池健康福祉部長</p>	<p>先ほど説明が不足しましたが、この岩手県のいきいき結婚サポートセンターに登録する際には、入会登録料が1万円かかりますが、その2分の1を遠野市で助成しています。</p>
<p>及川増徳議長</p>	<p>少子化対策については、総合的な戦略を立てて、いろんな取り組みを進める中で成果を上げていくということが求められていると思いますが、ここに取組が記載されていますが、ただ、俊彦委員が言われるように、目に見えるような、そのような取組にしていきたい。そのようなムードにしていくことも大事ではないかと感じました。</p> <p>当局では、俊彦委員の意見をこれからの取り組みにいかしていただければと思います。</p>
<p>小松大成委員</p>	<p>花巻農協からという立場での質問になりますが、報告資料No.4の7ペ</p>

	<p>ージに、行政事務の効率化・技術の高度化という項目がありますが、この中で関心が高まっているのは、スマート農業機器の導入に関して、若い農業者の間では関心が高いわけですが、その割には700万ほどの予算で、これで何ができるのかという感じがしました。</p> <p>具体的に、どのようなスマート農業を目指してこのような予算措置になったということを伺いたい。</p>
<p>阿部産業部長</p>	<p>この後の産業部からの事業説明でも改めて説明しますが、今検討しているのは、例えばドローンによる薬剤散布とか、水利センサー、あとは希望者がいるか分かりませんがパワードスーツとか、そういったデジタル、IoT関係の事業に取り組んでいきたいと考えています。</p>
<p>小松大成委員</p>	<p>分かりました。最初から莫大な予算を付けて進めろということではなく、ある程度のモデル地域の設定とか、そのようなものもあるでしょうから、まずは導入にこぎ着けたということで評価したいと思います。</p> <p>また、鳥獣害対策スマート化の拡充との記述もありますが、これはどのようなものでしょうか。</p>
<p>阿部産業部長</p>	<p>スマート化というのは、センサーで見張りをするとか、センサーで鹿が入った時に、それを暗視カメラで見ながらリモートでネットに情報を上げるとか、そのようなシステムになります。</p>
<p>小松大成委員</p>	<p>分かりましたが、この程度の予算で、どのくらいのことができるのかと疑問に思ったところです。</p> <p>200万くらいで鳥獣害対策のスマート化ということですが、電牧の設置だけでもかなりのお金がかかるような時に、この程度の予算で大丈夫なのかと思います。実際に鳥獣害に苦しんでいる農家にとっては、そのように思うところです。</p> <p>ちなみに、これは、どの地区をモデルに行おうとしているのでしょうか。</p>
<p>阿部産業部長</p>	<p>モデル地区については、これから公募しながら決めていくということになります。また、200万の予算規模をどのように思うかということですが、まず、これは決定打ではないわけであり、まずは実証してみるというのがこの事業の目的です。</p> <p>実証して、本当に有効だとすれば、その時に初めて本格的に予算を確</p>

	<p>保して普及を図るということになります。</p>
及川増徳議長	<p>三浦委員どうぞ。</p>
三浦芳昌委員	<p>報告資料No.5の4ページ。白岩児童センターについて個人的に伺いますが、すごく素晴らしい建物だと思いました。</p> <p>木造ということですが、どうせ作るのなら多目的に使えるようなもので、子供達の安心安全のための建物である必要があると思います。</p> <p>災害時にも活用できるような形の方が私は良いと思います。</p> <p>近くに福祉センターがあり避難場所が別に指定されているからということではなく、学校の近くにあるという利便性からも、ここをそのような場にした方が良いと感じました。</p> <p>また、今使用している白岩児童館については、解体については今後検討するということがありますが、解体するかしないかを迷っているのか、それとも何かに利用しようとしているのかを伺います。</p>
菊池健康福祉部長	<p>災害時の活用については、子供達の遊びの場としての安全面は、随所で配慮しているところですが、災害といった視点については、今後、そのような活用ができるかどうか、内部で検討してみたいと思います。</p> <p>白岩児童館の解体等については、現在は、方針は決まっていないので、活用方法も含めて、今後関係者との検討を進めて行くこととなります。</p>
及川増徳議長	<p>あともう一人くらい質問等がありますか。</p> <p>河野委員どうぞ。</p>
河野堅太委員	<p>白岩児童センターについてですが、今回整備されるのは、木造平屋建ての構造となっていますが、これにした経緯について伺います。</p>
村上環境整備部長	<p>地域産材を活用して、少しでも木材の利用促進を図りたいということでの設計となっています。</p>
河野堅太委員	<p>多分、SDGsの関係から国産材の活用を図っているものと思います。</p> <p>今国ではCLTの活用という動きがあり、北東北に限定した木材を使うと補助金が出ますということが、今多く、そして2分の1の補助があるということで、去年からCLT工法というのが出ています。予算編成は終わっていると思いますが、児童館や公共施設の整備にも補助が該当</p>

<p>及川増徳議長</p>	<p>するということを調べていましたので、そのようなものの活用についても検討していただければと思います。</p> <p>ただ今の発言は御意見ということで、当局では今後の参考としてください。</p> <p>それでは、まだいろいろあるかと思いますが、もし質疑がある場合は、次の後段の部分で承りたいと思います。</p> <p>では、後段の報告（2）のカからシまでを、順に説明をお願いします。</p>
<p>14:48～14:55</p>	<p>○一般財団法人TRCの設立について ※報告資料No.7により阿部産業部長が説明</p>
<p>14:55～15:04</p>	<p>○産業部における新型コロナウイルス感染症経済対策事業について ※報告資料No.8により阿部産業部長が説明</p>
<p>15:04～15:09</p>	<p>○遠野市観光推進基本構想及び基本計画について ※報告資料No.9により阿部産業部長が説明</p>
<p>15:09～15:11</p>	<p>○遠野市宅地開発指導要綱の策定について ※報告資料No.10により村上環境整備部長が説明</p>
<p>15:11～15:14</p>	<p>○鱒沢地区センターの整備計画について ※報告資料No.11により海老市民センター所長が説明</p>
<p>15:14～15:16</p>	<p>○未来づくりサポート大作戦について ※報告資料No.12により伊藤教育部長が説明</p>
<p>15:16～15:21</p>	<p>○消防広域化に係る消防指令業務の共同化について ※報告資料No.13により千田消防長が説明</p>
<p>及川増徳議長 (15:21～)</p>	<p>後段の報告事項について、それぞれ説明がありました。今日の審議会は、15時30分を目途にということで予定されておりますが、皆様の御理解をいただきながら、残りの時間質疑を行いたいと思います。</p> <p>また、若干会議が延びる場合もありかも知れませんが、次の予定のある方は、どうぞ退席されても構いませんので、よろしく申し上げます。</p> <p>では、質疑を受け付けます。</p>

<p>菊地セツ子委員</p>	<p>菊地セツ子委員。</p> <p>今までの内容のところ、6次産業化ということ掲げていますが、これは何年も前から聞く言葉ですが、具体的にはどのような実績がありますか。</p>
<p>阿部産業部長</p>	<p>商品開発に力を入れており、遠野ふるさと商社で出したホップソーダや、伝承園でのカップ焼きなどがあります。</p> <p>ホップソーダは1万本以上売れており、そのような形で新たな商品化ということを進めています。</p> <p>また、お昼のメニューなど食の開発もしながら、観光消費額だけではありませんが、遠野市の魅力を高め、そしてふるさと納税の返礼品もラインナップを増やしていきたいと思っています。</p>
<p>及川増徳議長</p>	<p>そのほかございませんか。</p> <p>赤坂委員。</p>
<p>赤坂康紀委員</p>	<p>今のふるさと納税に関連しまして、取り組みを強化するという話ですが、どうやって増やしていく考えなのでしょうか。</p>
<p>阿部産業部長</p>	<p>ふるさと納税返礼品は、令和3年度が1億2千万、令和4年度が3億と増えています。</p> <p>その要因は、返礼品のラインナップを2倍にしたほか高価格帯の商品を開発しました。具体的には時計です。それから、ラインナップの価格帯もですが、チャンスロス減らしたということです。</p> <p>令和3年度はジンギスカンが一番人気ですが、品物がなくて出すことができなかった。であれば、予約制にして、商品が入り次第送りますというような形で、きちんと対応することができたということで、ラインナップと高価格帯の商品、そして、チャンスロスをなくす。さらに、令和5年度に新商品を開発して金額を高めていきたいと考えています。</p>
<p>赤坂康紀委員</p>	<p>郷土芸能協議会の方で、観光とタイアップして収益事業を検討できないかということで、ワーキンググループを立ち上げて検討することになっていました。</p> <p>その中で、各郷土芸能の団体が持っている寄附に対する返礼品、そちらの方が、ふるさと納税の対象になるのではないかということで、そう</p>

	<p>すると各団体のやる気も変わってくるのではないかと考えています。</p> <p>是非、そちらの方についても、そのようなアイデアを生かせるような支援をしてもらえれば良いと思いました。</p>
<p>阿部産業部長</p>	<p>是非やらせていただきたいと思います。例えば、年に4回くらい郷土芸能団体に練習に来て、本番の遠野まつりで踊ってみるとか、それをそのままふるさと納税の返礼品にするとか。何年も来た人には、獅子頭をあげるとか、半纏をあげるとか、そういった仕組みを作っていくことができれば、本当に価値の高い返礼品になると思うので、後で相談にあがりますので、よろしくをお願いします。</p>
<p>及川増徳議長 (15:28～)</p>	<p>他に質疑はございませんか。</p> <p>ないようですので、それでは、以上で質疑を終了とさせていただきます。</p> <p>次第の8番、その他に入ります。事務局で何かございますか。</p>
<p>鈴木総務企画部長</p>	<p>次回の総合計画審議会は、8月10日に開催をする予定です。</p> <p>今度の8月の第2回目では、令和4年度の事業実績とその評価についての御審議をいただく予定としています。</p> <p>あらためて御案内の通知を差し上げますので、あらかじめ予定に入れていただきますようお願いいたします。</p>
<p>及川増徳議長</p>	<p>そのほか、委員の皆さんから何かございますか。</p> <p>ないようですので、以上で審議を終了といたします。</p> <p>御発言をいただいた委員の皆さま、本当にありがとうございました。</p> <p>進行を事務局に返します。</p>
<p>鈴木総務企画部長</p>	<p>及川増徳議長には、会議の速やかな進行をいただきありがとうございました。</p> <p>ここで、市長から挨拶を申し上げます。</p>
<p>多田市長 (15:29～)</p>	<p>大変皆様ありがとうございます。活発な、大変良い意見交換であったと思います。</p> <p>いろいろな御意見について、ありがたく頂戴いたします。</p> <p>まずは、状況に適応した施策。問題の根っこを見つけて、効果のある施策を打つということが大事だと考えています。</p>

最近は、構想とか基本計画の組替時期にありまして、もはや今の状況からみると、計画を立てたものの状況の流れが速いもので、さらに見直ししなければならないということが、かなり出てきています。

畜産に関しましても、6月の議会に、アクションプランをお示しすることとしています。

あとは、鳥獣被害対策については永遠のテーマのように聞こえますが、DXに関していえば、これはツールにしかないと考えている。実際に鳥獣被害の対策をするには、捕獲したものをどのように処分するかということをしかりと組み立てる必要がある。そのようなところを避けて通らないということが必要だと思います。

先ほど、6次産業化のことについてセツ子委員からありましたが、マクロビやビーガンというものを、遠野の女性の方々の手腕をもってすると、もしかすると風の丘の中でも名物商品になるのではないかと、又はふるさと納税の中でも活躍していく商品になるのではないかと、そのようなことも考えなければいけません。

教育については、かなりの施策を入れます。残念ながら、遠野はかなり教育水準が落ちました。教育というものは、すぐに成果が出るものではないことは、皆さんご承知のとおりだと思いますが、落ちているものと止めるということが大事なことで、今度は上げるということが大事であり、それを同時にやらなければいけないということをこれからチャレンジする施策が、先ほどの未来づくりサポート大作戦です。

例えば、保育園児から英語教育をする。この辺も来年度に向かって実行していくために、今年度は英語で遊ぼうというものをやっています。

その他にも様々な施策を実施しています。ウイメンズ・チャイルドクリニックがママの里となる。

今までウイメンズ・チャイルドクリニックをやるといっていた根拠、試算はできているのかということを見てみると、やるためにはどのような構えが必要なのかということを考えなければ、いっているだけではダメなのです。これをどうすればできるのかということであり、今まで根拠としてなかったのです。これをしかり皆さんで話し合いをしながら、今作っているところです。であれば、遠野に適した婦人科、小児科、それら医療体制や産前産後ケアなど、どのような形がベストなのかということを決めていかなければならない。

その辺のところを、例えば言いにくいことや聞きにくいことがたくさんあると思いますが、それを真正面から課題に対してチャレンジしていくというのが私たちの考え方であり、そのように進めています。

政策ということが、いろんな道具になったりしますが、そういうことではなく、遠野市の将来にとって何か良いかということをしっかり和前向きに取り組んでいくということが基本だと考えて進めています。

財政を見ていただくと分かる和おり、バランスがすごく良くなっていると思います。基金である和か借金の返済である和か、これは単純に使用方を変えたということではありません。予算の特徴でいうと、投資やチャレンジしているものは多いです。どちらかという和、合理化しようとする予算が多くなっていくのですが、それではネガティブである和、ポジティブにチャレンジしていくという予算になっていますが、その中で、同時にバランスを良くしていく、借金を減らしていくという和、これは相当の職員の努力がある和です。こまめに返済である和かやり繰りを繰り返しながら作っていくことを皆で取り組んで和れている成果が、このように出ている。要は、やり方で変わるということを実践して和れている和私は実感しています。

本日、皆様からいただいた御意見を大事にして、更に遠野市の施策をパワーアップさせて実行力をそこに持って行き、頑張っていきたいと思和います和、皆様、これからも御指導、御鞭撻をよろしくお願和します。

鈴木総務企画
部長

お疲れ様で和ございました。

以上を持ちまして、令和5年度第1回遠野市総合計画審議会を閉会いた和します。

大変御苦勞様で和した。